

科学技術分野での発表に適した表・グラフの書式

表計算ソフト『Excel』を用いてグラフを作成する場合、科学技術分野での発表に適した書式に整える作業も必要です。自由落下する物体の落下距離と運動の継続時間との関係を例に、グラフの書式の整え方を示します。

表のタイトルは上
「表〇」のように通し番号を付ける

表1 自由落下する物体の
落下距離と運動の継続時間との関係

時間 t [s]	落下距離 x [m]
0	0
0.1	0.049
0.2	0.196
0.3	0.441
0.4	0.784
0.5	1.23
0.6	1.76
0.7	2.40
0.8	3.14
0.9	3.97
1.0	4.90
1.1	5.93
1.2	7.06
1.3	8.28
1.4	9.60
1.5	11.0
1.6	12.5
1.7	14.2
1.8	15.9

数値が示す量の説明、単位を記す

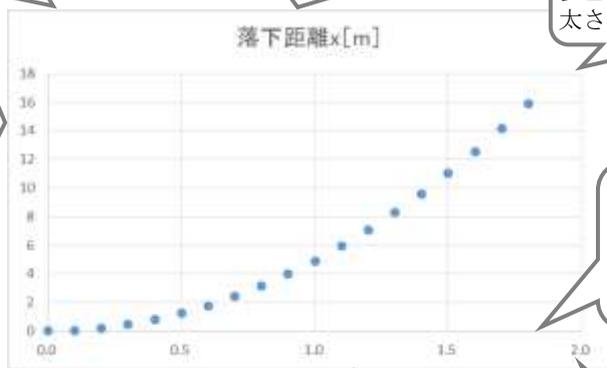
枠線を消す
グラフエリア → 枠線

タイトルを正しい位置に
グラフタイトルは下

必要な修正
〇〇 → △△ 辿り方
適した設定の例

枠線をはっきりと示す
プロットエリア → 枠線
太さ：1pt 程度、色：黒など

軸のタイトル、単位を追加する



軸をはっきりと示す
軸のオプション → 線
太さ：1pt 程度、色：黒など
プロットエリアの枠線の書式に合わせる

軸のタイトル、単位を追加する

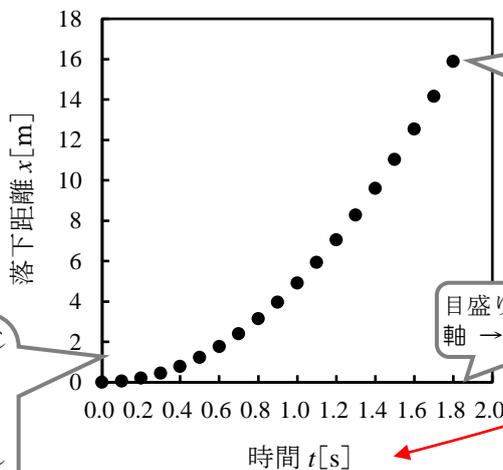
数字をはっきりと示す
ホーム → フォント
初期設定の灰色はかなり薄く見づらい、黒色に

枠線で囲む

図1 表1を選択範囲にして描画した散布図と書式の設定のポイント

変化させた量、つまり条件を **横軸** に

縦軸のタイトルはこの向き



モノクロ印刷でも判別できるようにする。
データ系列 → マーカー
初期設定の色はかなり薄く見づらい

目盛りを内向きに
軸 → 目盛り

縦・横軸の目盛り間隔を同じ長さになるように
軸 → 軸のオプション
プロットエリアのサイズ
方眼紙に描くのと一緒にして、傾きを見やすくするため

グラフタイトルはこの向き
グラフは図の一種であるから、「図5」のように写真などと通し番号を付ける

図2 物体の落下距離と時間

図2 科学技術分野での発表に適した書式にした散布図と設定のポイント